

新型コロナウィルス、暮らしネット・えんでは その3

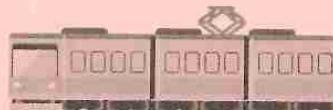
◆ケアプランえん◆

暮れの12月には近隣の病院や介護施設で感染者が出ました。通所リハビリでは12月に利用者1名が感染、2名の職員と1名の利用者の感染が見つかって年内の通所は休止。私が担当している利用者も濃厚接触者でしたが、幸いPCR検査陰性でした。それでも2週間自宅待機が義務づけられていて、他のデイサービスも行けなくなりました。代わりに訪問介護を考えたのですが、緊急では対応ができないとのことでした。家族がいたので何とか無事に生活できましたが、独り暮らしや夫婦のみの世帯では一時的でもデイやショートステイの利用ができなくなれば、深刻な影響を受けます。

年明け2回目の緊急事態宣言が発出されると、市内の特養ホームからは、新規入居者や緊急時のショートステイ利用は、緊急事態宣言が解除されるまではできないと断られる状態です。今後の様子を見ながら、利用者とご家族、サービス事業所と密に連絡をとり、できる限り緊急時の対応ができるよう支援していきます。

◆ケアサポートえん◆

～Aさんとの移動支援～



新型コロナウィルス感染症は1年が経とうしていますが、未だ収束の見通しもない。ワクチンの話はチラホラ聞こえてきていますが、感染した場合の治療薬?が作られている?なんて話は未だ聞きませんね。そういうしているうちにウイルスは確実に近寄ってきていて、いつ感染してもおかしくない状況です。

移動の困難な障がいがある方のためにある移動支援(外出支援)サービスも、2020年2月を最後に休止で、決して「不要」ではない外出もやむなく中止の状況が続いている。

Aさんとの移動支援での外出は2014年の9月から足かけ7年、外出の機会がない人なので、毎月1回の外出では、行きたいところを探して出かけます。最初の約3年は行き先が被ることなく外出することができましたが、次第にネタも尽きてきてしまっています。今思うと結構いろいろなところにも行けたなあ。行ってみたら「本日を以って閉館します」の『錯覚美術館』とか、たまたま大イベント開催日の「造幣局」、中華まん1個を食べるためだけに行った「横浜中華街」などいろいろな思い出がありますね。Aさんの